

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会				
事業所の名称 (施設名)	パフ (遊遊)				
事業所番号	4650001201				
事業の種別	<input type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市中山二丁目13番13号				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 27 日
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択) ホームページ ↓ 2にURLを記載
	2. 内容 https://www.keiseikai-kagosima.jp/outline
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	嘉原 一真
連絡先 (TEL)	099-263-3211

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス パフ (遊遊)			
○保護者評価実施期間	令和8年1月14日		～	令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33世帯	(回答者数)	18世帯
○従業者評価実施期間	令和8年1月28日		～	令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団での活動を通して一人ひとりが成功体験を積み重ねることができ、それが自己肯定感の向上につながっている。また、年齢や学校、地域の異なるお子様が共に過ごすことで、多様な価値観に触れ、相互に良い刺激を受けながら成長できる点が強みである。	お子様方の自信を育める場を目指し、好きなことや得意なことに応じて活躍できる機会や役割を意識して設定している。また、多様な特性を持つお子様が共に過ごす中で、相手への理解や思いやり、認め合う気持ちを高めていけるような支援を心掛けている。	友達と協力する活動や、適度な競い合いを取り入れたプログラム、行事の充実を図り、仲間づくりの機会を広げていく。併せて、実践的な経験を通して対人関係スキルの向上につながるよう支援を強化していく。
2	個別活動と集団活動の時間をバランスよく設定できる体制が整っており、施設の構造上も別室の確保がしやすい環境にある。その為、一人ひとりの特性や状況に応じた過ごし方を柔軟に提案できる。	集団での時間と個別の時間を明確にし、どちらもバランスよく取り入れながら支援を行っている。 集団活動では、友達同士の関わりや指示理解、周囲への気付きといった力の育成を大切にし、集団参加が難しい児童についてもその子なりの関わり方で参加ができるよう配慮している。 個別の時間では、自己決定の力、遊びを見つける力、宿題に取り組む力などに着目し、個々の意思や課題に合わせた適切な過ごし方を提案している。	子ども達の興味関心を丁寧に汲み取り、過ごし方の提案と一緒に体験する機会を通して余暇の過ごし方を自ら選択できる力を育てていく。また、多様な興味に応えられる環境作りを進め、主体的な活動につながる支援の充実を図る。
3	法人内に就労支援B型事業所、生活介護事業所が複数あり、高校卒業後の進路を見据えた連携や情報提供を図りやすい環境が整っている。また、放課後等デイサービスも複数あるので、積極的に交流の場を持つことができる。	放課後等デイサービス事業所間の交流を企画し、同年代のお子様と関わる機会を積極的に設けている。安心できる友達や職員と一緒に参加することで、より大きな集団の中で活動する練習にもなっている。	成人の事業所や未就学のクラスとの合同企画を発展させ、自分たちの準備した製作物をプレゼントしたり、模擬店形式で提供したりするなど、達成感や役割意識を実感しやすい取り組みをしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもたちへの支援をより充実させるうえで、専門職との連携体制については、さらなる強化が必要。	PT、OT、ST、歯科衛生士、看護師、栄養士等、支援の内容によって多職種との連携が想定される。現在も保護者様からのご要望があった場合や、職員が必要を感じた場合は専門職との連携を図っているが、個別的・スポット的な対応になってしまっている。	現在進めている取り組みをさらに発展させ、専門職と連携した活動や助言の機会を計画的に作っていく。そこで得た専門的な視点や支援方法は職員間で共有し、日々の支援に繋げていく。
2	各種マニュアルやBCP、安全計画等についてご家族への周知が十分とは言えない部分がある。	お子様方の安全確保や非常時の事業継続に備え、各種マニュアルやBCPを策定し、継続的に訓練も実施している。しかしながら、ご家族への周知方法が限定的であり、十分に周知できていない。	マニュアル等の冊子をより閲覧しやすい場所へ設置し、定期的に情報発信の機会を設け、ご家族に安心していただける体制づくりを強化していく。
3	家族会を含めた、ご家族同士やきょうだい児同士の交流の場の充実。	家族会や発表会等を通してご家族同士が交流できる機会は徐々に増えてきているものの、落ち着いてゆっくり話ができる場は十分とはいえない。また、親子で一緒に参加できる企画についても、ニーズを踏まえて充実させていきたい。	ご家族のニーズや参加しやすい形について意見を伺いながら、交流の場を設けていく。併せて、親子参加型の企画やきょうだい児も安心して参加できる取り組みを検討し、よりつながりを感じられる機会の充実を図る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス パフ (遊遊)		公表日	令和8年2月27日		利用児童数	33世帯		回収数	18世帯	
	令和8年1月28日	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1	0	0	⇒基準を満たしたスペースは確保されていますが、人数や活動内容、お子様の特性に応じ、遊戯室や相談室も活用しています。運動的な過ごし方と静的な過ごし方でスペースを分けられるよう工夫しています。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1	0	0	⇒基準に則して人員配置を行っています。その上で状況に合わせて、他の事業所より協力をいただいで整えております。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	2	0	0	⇒名前カードなど、視覚的に生活しやすい環境作りに取り組んでいます。今後も整理整頓や、生活能力の向上の観点から構造化の見直しを考えています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	3	0	0	⇒療育室、トイレ等、活動終了後に清掃を行い、清潔な空間が保たれるよう心掛けています。				
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1	0	0	⇒お子様への共通理解を図るケース会議、知識や技能の向上を図る療育研究会を通して職員の資質向上に努めております。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0	⇒今後も支援プログラムに基づき、お子様方の成長に繋がる支援を提供してまいります。				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0	⇒アセスメント（面談）、個別支援会議を通して、お子様の強みや課題に沿った支援計画の作成に努めています。				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0	⇒ガイドラインの項目ごとに支援内容を設定しております。分かりにくい点がありましたらお気軽に職員までお尋ねください。				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1	0	0	⇒放課後等デイサービス計画を職員間で共有し、支援に反映できるよう努めております。				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	1	子ども達がワクワクするような活動を毎月色々と考えてくださっている。	⇒ありがとうございます。楽しく通えることが支援の第一歩だと考えていますので、励みになります。お子様方の興味や課題、ガイドラインの5領域に基づき、月ごとに変化を持たせながら活動を設定しております。一方で、継続して取り組む活動も子どもたちの力になるので、いくつかの活動は通年で取り組めるように実施しています。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	3	6	町内活動への参加	⇒まちづくり協議会等からも情報を集め、参加できる形を検討してまいります。他にも『こういう場に参加できたらいいかも！』といった情報があればぜひ職員までお寄せください。			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	1		⇒今後も引き続き、丁寧な説明を心掛けてまいります。何かご不明な点がありましたら、お気軽に職員までお問い合わせください。			

13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0	⇒引き続き、面談等を通して丁寧な説明を心掛けてまいります。気がなった点、不安な点等ありましたら、遠慮なく職員までお声掛けください。
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1	0	1	⇒先日、ご家族向けにABA(応用行動分析学)の研修を実施させていただきました。さくら連絡網や家族会でも引き続き情報発信してまいりますので、ぜひご活用ください。
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	18	0	0	0	⇒今後も申し送り時や面談を通して、お子様についての共通理解を図ってまいります。日頃からご理解・ご協力ありがとうございます。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	0	⇒年に2回の面談の実施、必要に応じて個別での面談や担当者会議を設定しております。不安に思われたこと、ご不明な点などございましたら、いつでもお声掛けください。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0	⇒傾聴の姿勢を大切に、お子様方・ご家族の皆様にご寄り添う支援を目指しております。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2	0	3	⇒年に2回、家族会を実施しております。講演会や、食事会のような交流の場などニーズを反映した内容にしていきたいと考えていますので、ぜひ参加ください。
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	3	⇒いただいたご意見は職員間で共有し、迅速に対応できるよう努めてまいります。職員に直接お伝えしにくい内容であれば、ご意見箱や相談・苦情受付窓口もご活用いただければ幸いです。
20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	2	⇒あるふぁみ(LINE連絡機)移行へのご協力ありがとうございました。さくら連絡網と併用して、円滑に情報のやり取りができればと思っております。必要に応じてフリートークもご活用ください。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1	0	0	⇒活動概要・行事予定等は月間予定表にて、自己評価の結果はホームページや壁面掲示にて公表しております。ぜひご覧ください。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	2	0	1	⇒契約書の『利用者の記録や情報の管理、開示について』の項目に則り、注意してお取り扱いしております。お手紙、提出物の取り扱いも、より気を付けてまいります。
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	2	⇒各ケースを想定したマニュアルの策定、訓練を実施しております。各マニュアルについては、保護者様のご覧になりやすい場所への設置も予定しております。
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	2	⇒月に1回、火災や地震、水害に備えた避難訓練を行っています。他にも年に2回、不審者対策の防犯訓練も行い、命を守る意識を高めています。
25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	3	0	2	⇒年間を通して安全計画を作成しております。こちらもマニュアル同様、閲覧しやすい場所への設置を行います。
26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	4	⇒事故発生時はマニュアルに沿った速やかな対応と、ご家族への丁寧な説明を心掛けております。職員が気付いていなかったケースも含め、しっかりと検証し、再発防止に努めます。
27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0	⇒療育の環境の設定、職員の対応を日々日々磨き、今後もお子様方が安心して通うことができる事業所を目指してまいります。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	2	0	0	家の都合でバスに行けない日があるとがっかりしてしまうぐらい、毎週楽しみにしています。	⇒ありがとうございます。活動の時間はもちろんですが、お子様同士で遊ぶ時間や余暇時間の過ごし方も含め、楽しく過ごることができる時間と空間の確保を大切にしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0		⇒引き続き、お子様、ご家族のニーズに寄り添い、個々に応じた支援を心掛けてまいります。今後もお子様方にとってより良い支援を提供できるよう研鑽してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス パフ (遊遊)		令和8年2月27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	○		⇒療育室のスペースに対して適切な定員となっております。身体を動かしたい場合は遊戯室を利用するなど、その時々で柔軟に施設を活用しています。	⇒他事業所との兼ね合いで個別の部屋の利用が難しい場合に備え、パーテーション等の用意を検討しています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		⇒状況に合わせて他事業所から協力をいただくなど、お子様の安全に配慮して職員を配置しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		⇒お子様が生活面の自立を図っていけるよう、必要な情報を視覚的に掲示するなど工夫を行っています。	⇒より個別の課題に合わせた視覚的な環境整備、教材の準備を進めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		⇒療育後、お部屋やトイレの清掃を行い清潔な空間を保てるように心掛けています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		⇒お子様の過ごし方の違いへの対応や、落ち着く為の場所として相談室や隣室を使用しています。また、思いきり身体を動かす場所として2階の遊戯室も活用しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	○		⇒年間目標の進捗状況等、職員会議で随時振り返り、見直しを図っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		⇒アンケート調査の結果は事業所内で共有し、更なる工夫、業務改善に繋げられるよう努めてまいります。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		⇒朝礼や日々のやり取りの中で、職員の気づきを出し合い、業務改善に活かしています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		⇒現在、第三者による外部評価は行っておりません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		⇒月に1回の療育研究会、春期・秋期の職員全体研修を実施しております。また、外部研修を受けた職員がいた際は積極的に共有の場を設けています。	⇒より多くの職員が参加できるように、実施時期、時間帯の設定の見直しを行っています。
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		⇒慶生会のホームページにて公開しております。		
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		⇒アセスメントの内容を事業所内で共有し、ニーズの反映された計画の作成に努めています。		
13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		⇒計画の作成段階で、お子様の様子や支援の方針の意見を他の職員にも求めるようにしています。		
14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		⇒計画に沿った支援ができるよう、面談終了後の朝礼やケース会議で内容を共有しています。	⇒支援方針を適宜確認できるよう、利用者の目標、具体的指導の一覧の作成も視野に入れています。	
15 こどもの適成行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		⇒現在、標準化されたアセスメントツールは使用しておりません。インフォーマルアセスメントとアルバトロスのアセスメントを活用しています。	
16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		⇒ガイドラインの項目を踏まえ、実際のお子様の強みや課題に合わせた支援内容を設定しています。		

適切な支援の提供

17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		⇒事業所職員全員で案を出し合い、活動プログラムを組み立てています。職員それぞれの強みが活かされた活動も取り入れています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		⇒年間を通して取り組んでいく活動と、ねらいはそのままに内容に変化を持たせる活動とに分けてプログラムを組んでいます。	⇒お子様方、ご家族のニーズをより取り入れていけるよう、アンケートの実施を予定しています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		⇒お子様のニーズや課題に合わせ、作成しております。個別活動と集団活動のバランスは個々に応じて変えています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		⇒毎週土曜の職員ミーティングや毎日の朝礼の時間で、活動のねらいや内容、お子様への支援方法などの打ち合わせを行っています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		⇒上記と同様に、朝礼の時間を利用し、前日の振り返りを行い、次の支援へと繋げていけるよう取り組んでいます。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		⇒支援内容やお子様の様子など、記録として残し、成長や変化に気付きやすくなるようにしています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		⇒6か月ごとにモニタリングを行い、見直しを行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		⇒4つの基本活動がバランスよく経験できるよう支援の計画を立てています。活動の時間だけでなく、余暇の時間も活用しています。	⇒「地域交流の活動」「こどもが主体的に参画できる活動」を長期休みを利用して更に力を入れていきたいと思っています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		⇒活動や過ごし方の中で、ルールを守るべしとこころと自己選択できる部分を設定しています。	⇒言語以外の、自己表出の為のツールを増やしていきたいと考えています。

関係機関や保護者との連携

26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		⇒支援に関わる担当者が出席し、有意義な情報共有が図れるようにしています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		⇒保健センターや児童相談所、各学校と関わりを作りながら支援体制を整えています。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		⇒年2回の情報交換会、送迎時などで連携を図っています。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		⇒必要に応じて、各関係機関と連携を図っています。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			⇒今年度対象者がいらっしやるので、移行先の事業所へ情報提供の場を設け、スムーズな移行に繋がるような支援を図っていきます。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		⇒児童発達支援センターの主催している南部地区連絡会に参加し、他事業所との意見交換や助言をいただく場になっています。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			⇒法人内の放課後等デイサービスや成人の事業所とは定期的に交流活動を企画しています。地域のお子様との活動の際は、ニーズを踏まえ、町内会の活動等への参加を検討していきます。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		⇒当法人からも自立支援協議会へ参加しております。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		⇒申し送りや面談等で、お子様の成長や課題の共有を図っています。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			⇒現在、未就学の保護者様向けにペアレントトレーニングを実施しております。ニーズを見ながら対象者を拡大していきたいと考えています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		⇒利用前の見学や契約の際にお伝えできるようにしています。ご不明な点がございましたら、職員までお問い合わせください。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		⇒アセスメントや個別支援会議で本人やご家族の意向をお聞きして支援に繋げられるよう努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		⇒年2回の面談の中で、放課後等デイサービス計画を元にお話しさせていただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		⇒ご相談いただいた際には、専門的な視点からの助言や支援を心掛けています。また、遊遊の職員の視点のみでは必要な助言が難しい際には、他の職員や専門職に意見を求め、お答えできるようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		⇒年2回、家族会を実施しています。活動報告だけでなく、よりご家族の交流の場となるような家族会を目指してまいります。	⇒今後、ご家族やきょうだい児のニーズも見ながら内容を検討してまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		⇒苦情解決窓口を設置し、迅速に対応できるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		⇒法人として広報誌（ポコアポコ）を作成し、発信しています。	⇒より療育の様子を見ていただきやすいようにSNSの利用も検討しています。個人情報の扱いに配慮しながら、発信の仕方を工夫していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		⇒契約書にもある『利用者の記録や情報の管理、開示について』の項に則り、厳正に取り扱っております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための記録をしているか。	○		⇒絵カードや場面カードを副次的なコミュニケーションツールとして取り入れています。また、ハンドサインの入り口として、手話にも親しめる活動を取り入れています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		⇒事業所としては行っていませんが、法人として、サマーフェスタや、フリーマーケット等、地域に開かれた催しを行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		⇒各ケースを想定し、マニュアルを策定し、研修などで職員間の周知・習熟を図っています。また、避難訓練、防犯訓練も定期的を実施しています。	⇒一部、施設内に掲示はありますが、今後、更に見やすいように工夫してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		⇒災害時と感染症対策のBCPを策定しています。机上訓練も含め、定期的に職員への周知を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		⇒事前にご家族に対処を確認し、全職員対応できるようマニュアル化しています。また、必要に応じて看護師との連携体制も取れるようにしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	○		⇒栄養士と職員で確認し、アレルギー食品の提供がないよう徹底しています。また、アレルギー発生時のマニュアルを策定し、万が一の際には迅速に対応できるようにしています。 アレルギーのあるお子様は必ず医師の指示書をいただき対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		⇒安全計画を策定し、職員会議の時間を活用して情報共有や机上訓練を行っています。	

51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		⇒取り組みについてご家族にお伝えできるよう、安全計画をご覧いただけるようにいたします。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	⇒事業所で発生したヒヤリハットはタイムリーに共有できるようにしています。また、他事業所のヒヤリハットにも定期的に目を通し、類似事例の抑制にも努めています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	⇒月に1回、虐待防止委員会と身体拘束適正化委員会を実施し、意識向上に努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	⇒身体拘束に関するマニュアルを作成しています。お子様の安全の為やむを得ず身体拘束が必要な場合は、本人・ご家族に十分な説明を行い、同意を得た上での実施を義務づけています。	